

心齋橋大学 2021年度 春期カリキュラムについて

心齋橋大学の「本科」では、春期と秋期で各コースの担当講師が交代いたします。文章の書き方・表現の仕方については、作家によってそれぞれの感性や考えがあり、作家を目指す方、筆力向上を目指す方には、より多くの作家・講師の指導を受けられることをお勧め致します。

「本科」で1年間学ばれた方は、上位コースとしての「大学院」へ進級頂くことが出来ます。

本紙に、春期カリキュラム・担当講師についてご紹介致します。ご不明点や確認事項がありましたら、お気軽にスタッフにお声掛け下さい。メール・お電話でも随時お答え致します。

ご希望の受講クラスについては、別紙にご記入の上、事務局にご提出下さい。春期入学生も迎えますので、お早目のご提出をお願い致します。

4月15日迄のお手続きがお得！

特典ビデオ配信（90分講義）

* 水道橋博士 氏 特別講義 *

4月15日迄に、春期受講のお手続きを頂いた方には、作家・水道橋博士（コメンテーター、著作家、漫才師）さんの特別講義をビデオ配信致します。（東京作家大学特別講義映像です）※申込書に記載のメールアドレスにお送りします。

●本科・大学院の受講について ～ 受講の目安 ～

◆ 2020年秋入学の方、本科の春期又は秋期を受講された方へ

春期と秋期の指導内容に重複点はありますが、作家によって考え方やアプローチが異なります。皆様には、より多くの感性、意見、方法に触れ、根を張る為の土台を培って頂きたいと考えております。基本的には、現在受講中の分野（コース）を継続されることをお勧め致しますが、新たな分野にチャレンジなさりたい方は、受講コースを変更頂くことも出来ますし、専科スクールを並行して受講頂くことも出来ます。春期の本科各コースの講義を見学頂くことも出来ますので、お気軽にご相談下さい。

◆ 2020春入学の方、本科コースで1年以上学ばれた方へ

本科で学ばれた分野の上位クラスに進級を希望される方は、大学院のゼミを受講下さい。新たな分野にチャレンジなさりたい場合は、本科の該当コースを受講して下さい。

◆ 大学院に所属されている方、以前に所属されていた方へ

大学院は1年制の為、2020年秋に受講手続きをされたゼミについては、今回お手続きの必要はありません。2020年春に受講手続きをされたゼミについては、ご継続のお手続きをお願い致します。また、新たな分野にチャレンジなさる場合は、本科の該当コースを受講して下さい。大学院と本科の組み合わせ、大学院受講コースの追加に関しては、別途受講費用をご案内しますので、お申し付け下さい。

※ いずれのクラスも、継続生とコース変更や進級で新たに入られる方が合同で学びます。（本科では、新入生も受付致します）複数クラスがあるコースについては、振替受講が可能です。また、本科・大学院・専科は重複して受講する事が出来ますが、大学院に関しては、一定基準を満たした方のみ受講頂けます。

※ 進級・継続において、入学金は必要ありません。本科と専科の入学金は異なりますが、本科・大学院の受講生は、専科入学金は必要ありません。専科受講生が本科を受講する場合、入学金差額を申し受けます。

●公開講座・特別講義について 【本科・大学院】

本科・大学院では、書くこと、創作することを広く学んで頂く為に、特別講義と公開講座を設けております。

◎特別講義と公開講座は、各コースの開講曜日に関係無く、全校合同で実施致します。

○特別講義について

著名な作家をはじめ映画監督、編集長、ディレクターなどメディアで活躍している方々を講師としてお招きします。様々な分野から、広い知識を得ることを目的に行います。

(過去にお招きした講師：川上未映子氏、姫野カオルコ氏、鏑木蓮氏、長嶋有氏、村田沙耶香氏、吉村萬壺氏、黒川博行氏、朝井まかて氏、木下昌輝氏、角田光代氏 など)

【実施回数】年に2回程度(春期1回・秋期1回)を予定

【受講対象】本科受講生・大学院受講生 ※専科スクールのカリキュラムには含まれません。

○公開講座について

皆様の好奇心を刺激する講義、引き出しを増やす為の講義を企画致します。特別講義よりも講師との距離を近くし、より多くの作家や文化人、書籍・出版関係者の生の声をお聞き頂きたく、講師としてお招きします。(予定講師：作家・脚本家・構成作家・記者・編集者等)

【実施回数】春期4回・秋期4回を予定、各回昼クラス・夜クラスを開講予定

【受講対象】本科受講生・大学院受講生 ※専科スクールのカリキュラムには含まれません。

●本科・大学院の受講タイプについて 【オンライン受講】【ビデオ受講 ※欠席時】対応

本科と大学院では、講義ごとに、【来校受講】【オンライン受講】を選択頂けます。ご都合や体調に合わせて受講タイプを選択なさってください。また、ご欠席時には講義を録画したビデオを配信しますので、無理なく、無駄なくお続け頂くことができます。

○オンライン受講について (Zoom を使用します)

インターネット環境と、パソコンやスマホ等があれば、ご自宅などからリアルタイムで講義に出席頂けます。課題や教材はメール添付、郵送等でお届け致します。接続テストをご希望の方は、お気軽にご相談下さい。オンライン受講の方法については、開講時に改めてご案内致します。

○ビデオ受講について

来校、オンライン受講もご無理な場合は、講義を録画してインターネット上にアップします。視聴用URLとパスワードをメールでお知らせしますので、ご自宅でご都合の良い時にご覧下さい。

●本科について

本科には、5つのコースがあり、学びたい分野に応じたコースを選択頂く事が出来ます。各コースの開講期間・講義回数・受講費用は共通です。

開講期間：春期2021年5月～2021年10月 予定

※2021年秋期カリキュラムは、2021年11月からスタート致します。

講義回数：20回(各コースカリキュラム15回・特別講義と公開講座計5回)(90分/回)

受講料：94,000円(税抜) 教材・教務費：5,000円(税抜) …いずれも1コース選択の場合

※5回払いもご利用頂けます。※消費税・受講費用計については、P10・11をご確認下さい。

※受講されるコース・クラスの担当講師以外への講評依頼は受付出来ません。

●本科の各コースについて ～担当講師の指導方法・内容～

本科：文章・エッセイ コース

Start 5/17(月)・5/22(土)

エッセイ、文章の上達を目的としたコースです。文章を楽しんで書く為の雑学や教養もプラスしましょう。課題量は多くありません。ゆったりと楽しんで学びたい方にお勧めのコースです。

【開講曜日・時間】 月曜昼(14時)クラス、土曜昼(14時)クラス ※振替受講可

・ 担当講師：相羽秋夫先生・藤川ヤヨイ先生・古川嘉一郎先生 … 各5回

文章・エッセイの基礎にあるのは、“噺”です。読み手が、興味がある噺は、この漢字が示すように“新しい話題”です。文章の作り方はもちろんのこと、楽しい話、ユーモラスな話、制約のある文章の作り方（川柳・言葉遊び）等を分かりやすく説明、実作指導も行います。

抽象的、あるいは概念的な文章論ではなく、具体的なお話をしたいと思います。原稿用紙を持って来ていただき、実践をして力をつけていただきたいと思います。

- ・ どうすれば読み手にわかりやすい文章が書けるか。
- ・ どう書けば読者の共感を得ることができるだろうか。
- ・ 情報を端的に伝えるにはどうしたら良いか。

いい文章を書くには豊かな感性が必要である。その豊かな感性を持つために、日頃からどんなことを心掛ければいいのかを考える。具体的に、いい文章の見本を示し、そのポイントを解説します。また、公募についてのアドバイスを行います。さらに、詩的な感覚（ポエジー）を養うため、詩作品の鑑賞も取り入れます。

秋期に比べ、作品提出・発表の機会が多くなります。講義内で書く、自宅で書いて提出する、条件やテーマを与えられる等、様々なパターンに挑戦しながら筆力を鍛えます。

【開講曜日・時間】 火曜 昼（14時）クラス、夜（19時）クラス ※振替受講可

- ・ 担当講師：難波利三先生（講義回数：3回）・増山実先生（講義回数：7回）・田中哲弥先生（5回）

【 難波先生の指導予定：講義内で書いて提出・指名された方は発表・個別評あり】

文章は本質的に教えられるものではなく、それぞれの人生で培われてきた知識や経験、更には読み書きした蓄積などが総合的に働いて、文章を紡ぎ出すのだと考えています。

では、書きたいという意欲に燃えて入学してきた受講生に対して、どのような指導をするのがベストで効果的か。中学、高校の国語の授業のように、教材を用いる画一的な指導法はなるべく排除したい。なぜなら、皆が同じような文章を書くようになれば、個性が失われる恐れがあるから。

90分という限られた時間と空間の中で、各人の書きたい意欲を最大限に刺激して、半ば強制的に書かせる。理屈を耳から教えるのではなく、大半の60分は実施に脳と手を動かすように仕向ける。そのため毎回、予告なしに即席でテーマを与える。自称・現場主義。それが最も有効ではないかと小生は思う。

創作や随筆は論文や報告書とは違い、想像力や空想力が必要です。構成力や描写力も同様。それに適したテーマを与え、受講生達のそれらを喚起させる。文章は一種の慣れだから、書けば書くほど筆力が増す。しかも時間的、空間的に制約された教室での作業は、大変な集中力が求められる。頭の中はフル回転しているはずで、それが創作力の開発、増強に結び付くと確信しています。

心齋橋大学に入学するぐらいだから、元々、書くことに人一倍の興味や関心があり、すでに自分で創作に励んでいる人もいるでしょう。程度の差はあれ、かなりの文章力を備えていると推察されます。

そして上手下手を問わず、どの文章にも必ず個性があります。個性という持ち味こそ勝負どころであり、ダイヤモンドです。本人が気づいていないかもしれない、その宝物を見つけて引き出し、延ばすように仕向けたい。大事な個性を殺さないため、文章の修正や手直しは最小限度に止どめる。角を矯めて牛を殺してはならない。長所を見つけて、褒めて育てる。それが小生の指導の心得事です。10年ほど前に講師を引き受けて以来、その基本姿勢は変わりません。

【増山先生の指導予定：与えられたテーマで5枚の作品を提出・全員配布・個別評あり】

私自身がどのように小説を書いてきたかの体験をふまえ、アイデアの掴み方と、それを物語としてどのように形にしていくのか、をお話しします。また、2回以降の講義では、毎回テーマを決めて課題を出し、次の講義での講評を予定しています。実作を重ねながら、創作の秘密を身に付けていきます。

【田中先生の指導予定：50枚迄の完結作を提出・講義内講評・作品配布は指名された方の分のみ】

(例1：毎回10枚程度×4回で50枚迄の1作品／例2：30枚の作品と50枚の作品の計2作品 等)

実際に小説を書いていると、途中でこの作品はだめなのではないかと不安になったり、続きを書くのがむずかしくなって完結させられなかったりということがあると思います。そういうときどうやって話を転がしていくか、どのように書けば楽しくなるかといった技術的なアドバイスを中心にやっていこうと思います。

ドラマ脚本について学びます。ドラマ脚本のカリキュラムでは、企画を起こす段階から脚本にするまでを、より掘り下げて学びます。面白いドラマとはどのような物か？を徹底追及していきましょう。2020年春期公開講座で講義を頂きました飯田健三郎先生が、レギュラー講師として新たに指導下さいます。

【開講曜日・時間】 月曜夜(19時)クラス

- ・ 担当講師：楠本ひろみ先生(講義回数：8回)・飯田健三郎先生(講義回数：7回)

映画、テレビなどのドラマの脚本を、基礎から学ぶためのコースです。

シナリオを書く…映画やドラマは好きでも、実際にはシナリオを読んだことすらないという方にとっては、想像がつきにくいことかも知れません。小説とどう違うんだろう？自分に書けるんだろうか？そう不安を持つ方もいらっしゃるでしょう。

この講座では、初めての方にも気軽にシナリオに取り組んでいただけるよう、書き方の基礎から、実際のシナリオ制作の手順に沿って指導していきます。すでに脚本を書いている方、実際に映像を撮影した方には、基礎からしっかり学び直していただくことによって、自作をブラッシュアップすることができます。また、プロならではの現場エピソードを交えて指導します。ブレークスルーを目指す方にとっては、新たな発見をする機会でもあります。

企画、アイデア出しから、アウトラインの書き方、プロット、構成、シナリオ、そして改稿までの講義を通じ、一本の映像作品を書いていただく事を目標とします。一通りの基礎を学ぶことができますので、オーディオドラマ、マンガ原作などに興味がある方も、まずはこのクラスを受講されては如何でしょうか。

各人の進行状況をこまめにフォローしながら進みますので、興味を持たれた方はぜひチャレンジしてみてください。

映画会社やテレビ局でなくとも、ネットを通じて、誰もが、自由に、しかも全世界に向けて、自分のクリエイティビティを発信できる時代になりました。スマホで撮影したほんの数分の映像作品が世界的に評価されている例も少なくはありません。

あなたのアイデアが、大げさに言えば、世界を変えるかもしれません。でも、ただの思いつきでは、もしかしたら100人を感動させることはできるかもしれませんが、100万、1000万の人の心を打つことはむずかしい。やはりそこにはきちんとした「論理」が必要です。

映画、テレビドラマ、あるいは舞台での演劇作品においても、脚本を学ぶ目的はそこにあると、わたしは考えています。

幼年童話・児童文学・絵本について学びます。ハリーポッターやナルニア国物語など、大人が読んで夢中になる物語を書いてみませんか。春期では物語の創作について、秋期では絵本作家の視点から絵本の構成やキャラクター設定についても指導します。実習も盛り込みながら楽しく取り組んで頂けます。

【開講曜日・時間】 土曜昼 (11 時) クラス

- 担当講師：藤田富美恵先生（講義回数：8回）・溝江玲子先生（講義回数：7回）

藤田富美恵 先生より／児童文学作家

課題有・講義内講評

児童文学作品においての、テーマ、モチーフ、起承転結、5W (Where (どこ)、Who (だれ)、When (いつ)、What (何)、Why (なぜ)) を踏まえた書き方から指導をします。短い作品から創作をはじめ、提出頂きます。提出作は、合評・講評します。より良い作品に仕上げる為の推敲についても、じっくりと指導します。公募への応募にも積極的に取り組みます。是非、チャレンジして下さい。

溝江玲子 先生より／児童文学作家

課題有・講義内講評

あなたは「いつか自分も絵本作家に、そして児童文学作家になりたい」と思っていますね。「思うことは、もう半分の道のりを来たと同じこと」という名言があります。しかし、ただ思っただけではその思いは実現しません。児童文学コースは、小人数で専門的な講義を受けられるクラスです。卒業生の中からはいろいろな部門で活躍されている人材が豊富に育っています。それは現役の作家が現実に即した実作中心の授業をするからです。そういう授業だからこそ、皆さんはプロの技術を学び取ることができるのです。

ジャンル小説コースでは、ジャンル小説の基礎知識の習得から短編を書き上げる迄を、1年間で学びます。春期と秋期に、それぞれスタートクラスを設け、最初の半年間で基礎知識を学び、次の半年間で小説を仕上げます。新たな分野を学び、自作に変化を付けたい、とにかく知識を増やしておきたい方にもお勧めのコースです。※ 両クラス、オンラインのみ (欠席時ビデオサポート有) となります。

**【開講曜日・時間】 春期からの受講生 (Iクラス) は、土曜夕 (16 時) クラス
秋期からの継続生 (IIクラス) は、土曜昼 (14 時) クラス**

- 春期スタートクラスのカリキュラム 担当講師：田中啓文先生・牧野修先生

担当講師：田中啓文先生 (8回)・牧野修先生 (7回)

ミステリ・ホラー・ファンタジー・SF・時代小説等のエンターテインメント性の高い小説の書き方について、基礎知識の習得 (講義) と演習 (実作講評) を行いながら指導します。一つ一つの課題は小さく、ステップを着実に上がっていくことが出来るように構成しています。初めて小説を学ぶ方、「創作・小説」コースで学ばれ、表現の幅を広げたい方にもお勧めです。

- 秋期より継続される方の為の「春期」カリキュラムの特徴

担当講師：田中啓文先生 (8回)・牧野修先生 (4回)・友野詳先生 (ライトノベル講義/3回)

公募入選・デビューを目指し、応募や投稿の仕方についても指導します。プロット、キャラクター設定などの小説を書き上げる為のプロセスを順に確認しながら、講師指導のもと、50枚の短編小説を仕上げます。これまでに何作か書かれている方にも、新たな気付きがあることでしょう。また、秋期では学ばなかった新たな分野として、ライトノベルについても指導します。

田中啓文 先生より／小説家

課題有・講義内講評

いわゆるジャンル小説は、一般文芸や純文学と異なり、それぞれのジャンルに固定のファンがいます。たとえばミステリしか読まないとか、時代小説しか読まないといったうるさがたの読者が相手なので、彼

らを満足させ、納得させる書き方が要求されます。

この講座では、そんな読者を納得させるベーシックな部分から解説し、それを踏まえて、短編小説を一本仕上げるという具体的な作業をやっていこうと思っています。

今、出版界には数多くの新人賞があり、ジャンル小説の作家としてデビューするには非常に恵まれた状況だと思います。しかし、新人賞に応募するには最低 50 枚の短編を書くことが必要です。目標は、最終回までに「新人賞に応募するレベルの 50 枚の短編を書き上げる」です。

皆さんが書きたいと思っているジャンルの作品を、段階をおって完成させましょう。ジャンル小説を書きたいと思っているかたはぜひご受講下さい。

牧野修 先生より／小説家 課題有・講義内講評

ホラー、ファンタジー、SF。どれも特有のお約束や決まり事がいろいろあります。それは、同時にジャンルの魅力でもあります。人を怖がらせたり驚かせたり、そこには娯楽小説の魅力が一杯詰まっています。小説の楽しみ方を知り、書くことも楽しむ。そんなことを講座では話していきます。ぜひ体験してみてください。

●大学院について

本科の上位クラスとして大学院があります。大学院の各ゼミは完全担任制です。本科で様々な指導を受けて頂いたことで、ご自身の方向性も定まってこられるでしょう。書くことを更に深く学びたい、公募入選・プロデビューを目指したい方は、是非受講下さい。一度大学院に進級されても、本科のカリキュラムを受講頂くことが出来ます。また、本科のカリキュラムは、大学院と並行して受講頂くことも可能です。

◎大学院の受講資格について

大学院ゼミ担当講師の講義を、①本科で受講された方、②受講を希望するゼミの分野を心齋橋大学で1年以上学ばれた方に受講頂けます。詳しくは、スタッフにご確認下さい。

例：大学院の難波先生ゼミの受講を希望…心齋橋大学で小説を1年以上学び、難波先生の指導を受けていることが基本となります。2020年秋入学の本科「創作・小説コース」生の方は、2021年春期の「創作・小説コース」で学ばれた後、大学院へ進級頂く事が出来ます。

●大学院の概要

開講期間：2021年5月～2022年4月 予定 ◎大学院は1年制です

講義回数：16回～（各ゼミの講義12回、特別講義2回、公開講座2回～）

※ゼミ選択数によって公開講座の回数が異なります。2ゼミを受講される方は、すべての公開講座を受講頂くことができ、大変お得になります。

受講料：82,000円（税抜） 教務・教材費：5,000円（税抜） …いずれも1ゼミ選択の場合

※選択ゼミ数により、受講費用総額が異なります。※月払いもご利用頂けます。

※消費税・受講費用計については、P10・11をご確認下さい。

※受講されるゼミの担当講師以外への講評・添削依頼の受付は出来ません。

●大学院のゼミ（クラス）紹介 ーゼミ・クラスをお選び下さい。複数ゼミのお申込みも頂けます。ー

小説・エッセイ分野

難波利三 先生ゼミ

Start 5/6（木）・5/8（土）

毎月第1 木曜昼（14時）クラス、木曜夜（19時）クラス、土曜夕（16時）クラス ※振替受講可

【カリキュラム概要】創作（小説）が基本です

- ・ 毎回、即席で与えられたテーマで書く。時間的、空間的に限られた状況で最大級の集中力と、全知全能の結集が必要となり、その繰り返しが創作力アップに繋がる。毎回完結でも、続編でも可。
- ・ 創作の書き出しと終わりの大切さを学ぶ。

丹波元 先生ゼミ

Start 5/15 (土)・5/20 (木)

毎月第3 木曜昼(14時)クラス、木曜夜(19時)クラス、土曜夕(16時)クラス ※振替受講可

【カリキュラム概要】創作（小説）・エッセイ

- ・ 毎回、与えられたテーマで、エッセイまたは小説を選択して期日までに課題提出。優秀と認められた作品を発表、講評する。
- ・ 文章の基本は、名作を読むことにある。名短編小説や名エッセイを教材として取り上げ、その解説を行う。読むべき名作をお教えします。

田中哲弥先生・牧野修先生ゼミ 担当講師：牧野修 先生（春期） & 田中哲弥 先生（秋期）

毎月第3 土曜夜(18時)クラス

Start 5/15 (土)

【カリキュラム概要】創作（小説）（実作合評クラス）

受講対象：ジャンル小説コース又は創作・小説コースを受講された方
大学院小説ゼミに所属されている方・されていた方

- ・ 各自、作品を提出。提出作品は、講師及び全受講生に配布。提出作に対し、講評・合評を行う。
- ・ 作品ジャンル及びテーマは自由。受講人数・提出枚数により、1回あたりの提出枚数等を適宜調整致します。
- ・ 春期6回と秋期6回で講師交代予定。基本的には、6回の講義のうちに1作を完成させること。
- ・ 皆さんの作品発表の場、プロから直接指導が受けられる、熱意溢れる場となることを目指します。

◎担当講師よりメッセージ

本科コースで実作を書く事の難しさ、楽しさを感じていただけたと思います。また、作品を書き上げることの達成感も味わっていただけたかもしれません。このクラスでは、あらずじから始まり、作品を仕上げていく、具体的な過程のお手伝いをします。基本的には前期1作、後期1作、通算2作を仕上げることを目標としています。それぞれの自由な発想で作品を完成させていきましょう。

古川嘉一郎 先生ゼミ

Start 5/11 (火)

毎月第2 火曜昼(14時)クラス

【カリキュラム概要】エッセイ

- ・ 毎回、公募ガイドからピックアップし、課題とする。（講師が指定する5~6本の中から1つ、複数も可）課題作は当日、受講生全員に配布。
- ・ 各自、自作を読み上げ、講師がその内容や構成、文章表現について細かくアドバイス。また、全員で合評も行う。

脚本分野

林千代 先生ゼミ

Start 5/7 (金)

毎月第1 金曜昼(14時)クラス、金曜夜(19時)クラス ※振替受講可

【カリキュラム概要】脚本

- ・ 発想からプロット、シナリオ創作のプロセスを今一度復習しながら、プロットの書き方、人物の配置、魅力あるキャラとは、起承転結…を指導します。
- ・ 合評から書き直しのテクニック、アドバイス。面白くするコツ、魅力あるキャラ創り、ドラマをラストまで引っ張る構成の妙とは。テーマとアンチテーゼ、始めと終わりのドラマの合致の大切さを学ぶ。
- ・ 映像の特性を学び、最大限に生かすコツ。いかに書くか、書かないか！テクニックをトータルに学ぶ。
- ・ コンクール受賞へ向かって、してはいけない書き方、テーマの重要性、キャラの魅力の出し方を学ぶ。

楠本ひろみ 先生ゼミ

Start 5/21 (金)

毎月第3 金曜昼 (14時) クラス、金曜夜 (19時) クラス ※振替受講可

【カリキュラム概要】脚本

- ・ 基礎を復習しながら、企画からプロット、構成、脚本、改稿までを通して、作品を仕上げます。作品を仕上げることが出来ないでいる方には、どこに問題があって前へ進まないのか、どこまでなら出来るのかを確認しながら、とにかく一本作品を完成させることを目指します。
- ・ コンクール入賞を目指す方には、企画について、「ただ自分が書きたいもの」だけではなく、その企画に新鮮味があるか、独自性があるかといった視点で企画立案ができるよう、「ネタを見る目」「ネタを育てる力」を意識するように促します。また、改稿する力（自作の欠点の気付き、コミュニケーション能力、改善点を作品に活かす能力）を伸ばすことを重点に指導します。
- ・ 映像作品に加え、ラジオなどのオーディオ作品、マンガ原作についても注意点を指導します。

事務局より：課題作は、講義 10 日前迄にメール添付でデータ提出頂きます。事務局より、楠本先生と各クラス受講生に、データを転送致します。また、提出作品は、教材としてプリントアウトしてお配り致します。この為、ワープロソフトとメールがご利用頂ける環境を推奨致します。

児童文学分野

あんずゆき 先生ゼミ

Start 5/8 (土)

毎月第2 土曜昼 (11時)

【カリキュラム概要】児童文学

- ・ 心齋橋大学で児童文学を学ばれた方を対象に、実作指導、合評・講評を行うクラスです。書き続けたい方、コンクールでの入賞を目指す方、出版したい方…、それぞれの目的と個性に合わせた指導を行います。基本的には、ご自身の書きたいテーマで書いて下さい。受講人数や作品の提出数、進捗を確認しながら、提出数や原稿枚数等も適宜調整していきます。無理なく続けましょう。

●専科スクールのご紹介

本科・大学院とは別に開講する講座で、コースにより、受講期間・回数が異なります。特定の目的の為のカリキュラムをご用意しており、本科・大学院と並行して受講頂く事が出来ます。説明会・体験授業へのご参加、資料をご希望の方は、スタッフにお申し付け下さい。※下記の掲載額は全て税抜きです。

○「紙ふうせん」後藤悦治郎による作詞家養成スクール

—体験授業も有—

Start 5/19 (水)

「冬が来る前に」「翼をください」、おはよう朝日テーマソングとして親しまれた「朝（あした）の空」など、多くの名曲に携わってこられた後藤先生による直接指導が受けられます。作詞は初めて、という方も是非、挑戦して下さい。

【開講曜日・時間】 第1・3水曜 18時30分～20時20分、1日2コマを実施

【開講期間】 2021年5月（5月は5/19・5/26）～2021年10月 【講義回数】 24回（50分/回）

【受講費用】 新規生 受講料：66,000円 教務・教材費：6,000円 ※6回払い可

◎作詞家養成コース継続生の方は、受講料 55,000円 教務・教材費：5,000円 ※5回払い可

【後藤悦治郎先生 ご紹介】

1967年 平山泰代とデュエットを組む。1969年「赤い鳥」結成。1974年「紙ふうせん」結成。「竹田の子守唄」「翼をください」「紙風船」「冬がくる前に」等々のヒット曲の作詞・作曲・編曲、歌唱、と幅広く活躍する。テレビ、ラジオの番組テーマ曲、映画、ドラマの音楽制作多数。市町村のイメージソング、社歌、小学校から大学まで全国の校歌も多数制作している。

【カリキュラム】①～⑥を各4コマ実施予定。作詞・実作・添削を行います。

- ① 詞を書く前に----- 詞を書く前の心得、言葉のなりたちと言葉あそび。（相羽秋夫先生）
- ② 定型詩----- 和歌、連歌、俳句、川柳、都々逸、小唄について。
- ③ ブレス----- 詩の息つき、歌唱の息つきについて。
- ④ 伝承歌----- 全国津々浦々で採集・採譜した「うた」の解説。背景を解説。
- ⑤ フォークソング----- ボブディラン、P・P・M、サイモン&ガーファングルなどについて。
- ⑥ 日本のポップス----- 赤い鳥、紙ふうせん、阿久悠などについて。

作詞家養成スクール 体験入学・説明会【無料・要予約】

現在実施中の講義に体験入学頂けます。作詞に興味のある方は、是非ご参加下さい。

3/17（水）・4/7（水）・4/21（水） 各 19：00～90分程度。いずれかにご予約下さい。



○放送作家養成スクール **—体験授業も有—** Start 5/22（土）

放送作家、イベントプロデューサーを養成、業界への就職を目指すコースです。現役の放送作家が直接指導し、業界デビューへとサポート致します。即戦力となるよう指導しており、受講生は次々とチャンスを手掛けています。※30歳ぐらい迄の方にお勧め致します。

【開講曜日・時間】 土曜 17時～、ほぼ毎週の開講を予定

【開講期間】 2021年5月～2021年10月 【講義回数】 20回（90分/回）

【受講費用】 受講料：100,000円 ※5回払い可

○自分史制作スクール

◎執筆依頼のプランについても、ご相談下さい。

自分史を執筆する為のコースです。マンツーマン指導で自分史の執筆をサポート致します。章ごとに執筆、添削・講評を受けながら、自分史を完成させ、製本・出版致します。自分史以外のビジネス書、ハウツー本等も読みやすい文章となるよう、指導しますのでご相談下さい。

【開講曜日・時間】 随時 執筆スタート後は月に1度ぐらいのペースで面談・指導

【開講期間】 執筆ペースにより異なる 【講義回数】 12回（目安、追加可）

◎初回講義から出版迄にかかる期間約12カ月の例

- ①自分史執筆に関する講義（2回）… 約1カ月
- ②添削指導（8回）… 約8カ月（執筆ペースにより異なる）
- ③製本・出版に関する講義（2回）※出稿（校了）から出版迄にかかる期間…約3カ月

【受講費用】 受講料：148,000円/教務・教材費：2,000円 ※製本費用は別途必要です

◎製本・出版費用例：ソフトカバー仕上げ、216ページ、150冊…680,000円

*** 心齋橋大学 2020 年度秋期 受講費用と講義回数 ***

- ・ 本科の複数コース受講、本科と大学院の組合せ、大学院 3 ゼミの組み合わせや、ゼミ追加の費用については、スタッフにご確認下さい。受講回数が多くなるほど、お得な費用設定でご案内しております。
※専科スクールを合わせて受講される場合は、受講費用をそのまま加算して下さい。
- ・ ご希望の受講内容については、確認書に明記して下さい。確認書のご提出と費用のお支払いは、前後しても結構です。必ず受講生様フルネームでお振込下さい。

ご一括払いの場合、月払いと比べ 5,000 円～10,000 円お得です

*** 4 月 15 日迄にお手続きの方は、水道橋博士氏の特別講義を視聴頂けます ***

本科 コース	期間と回数	一括払い
<ul style="list-style-type: none"> ◆ 文章・エッセイ ◆ 創作・小説 ◆ 脚本 ◆ 児童文学 ◆ ジャンル小説 	受講期間：半年 各コースカリキュラム講義：15 回 公開講座：4 回／特別講義：1 回 全講義回数計：20 回	受講料： 94,000 円 教材・教務費： 5,000 円 消費税： 9,900 円 一括払い（税込計）：108,900 円

大学院 ゼミ	期間と回数	一括払い
<ul style="list-style-type: none"> ◆ 難波先生（小説） ◆ 丹波先生（小説・エッセイ） ◆ 田中哲弥&牧野先生（小説） ◆ 古川先生（エッセイ） ◆ 林千代先生（脚本） ◆ 楠本先生（脚本） ◆ あんず先生（児童文学） 	受講期間：1 年 各ゼミ担当講師による講義：12 回 と公開講座・特別講義 ●1 つのゼミを選択した場合 公開講座：2 回／特別講義：2 回 全講義回数計：16 回	受講料： 82,000 円 教材・教務費： 5,000 円 消費税： 8,700 円 一括払い（税込計）：95,700 円
	●2 つのゼミを選択した場合 公開講座：2 回＋無料特典 6 回 特別講義：2 回 全講義回数計：28 回～34 回 特典分の公開講座を全て受講頂くと、 最高回数 34 回となります。	受講料： 144,000 円 教材・教務費： 7,000 円 消費税： 15,100 円 一括払い（税込計）：166,100 円

専科スクール／期間と回数	一括払い
放送作家養成スクール 受講期間：半年／20 回	受講料：100,000 円／消費税：10,000 円 一括払い（税込計）：110,000 円
紙ふうせん後藤悦治郎 作詞家養成スクール 受講期間：半年／24 回	【作詞 新規生】 受講料：66,000 円／教材・教務費：6,000 円 一括払い（税込計）：79,200 円 【作詞 継続生】 受講料：55,000 円／教材・教務費：5,000 円 一括払い（税込計）：66,000 円
自分史制作スクール 受講期間：半年～1 年／12 回 ※内容・執筆スピードにより異なる	【執筆プラン】 ※月払いについては、ご相談下さい。 受講料：148,000 円／教材・教務費：2,000 円／消費税：15,000 円 一括払い（税込計）：165,000 円

*** 月払い予定表 ***

本科 コース	回数	お支払い期日	お支払い税込額
<ul style="list-style-type: none"> ◆ 文章・エッセイ ◆ 創作・小説 ◆ 脚本 ◆ 児童文学 ◆ ジャンル小説 	1回目	2021年4月15日	26,400円
	2回目	2021年5月28日	22,000円
	3回目	2021年6月28日	22,000円
	4回目	2021年7月28日	22,000円
	5回目	2021年8月28日	22,000円

大学院 ゼミ 【1ゼミ選択】	回数	お支払い期日	お支払い税込額
<ul style="list-style-type: none"> ◆ 難波先生（小説） ◆ 丹波先生（小説・エッセイ） ◆ 田中哲弥&牧野先生（小説） ◆ 古川先生（エッセイ） ◆ 林千代先生（脚本） ◆ 楠本先生（脚本） ◆ あんず先生（児童） 	1回目	2021年4月15日	22,000円
	2回目	2021年5月28日	19,800円
	3回目	2021年6月28日	19,800円
	4回目	2021年7月28日	19,800円
	5回目	2021年8月28日	19,800円

大学院 ゼミ 【2ゼミ選択】	回数	お支払い期日	お支払い税込額
<ul style="list-style-type: none"> ◆ 難波先生（小説） ◆ 丹波先生（小説・エッセイ） ◆ 田中哲弥&牧野先生（小説） ◆ 古川先生（エッセイ） ◆ 林千代先生（脚本） ◆ 楠本先生（脚本） ◆ あんず先生（児童文学） 	1回目	2021年4月15日	18,700円
	2回目	2021年5月28日	17,600円
	3回目	2021年6月28日	17,600円
	4回目	2021年7月28日	17,600円
	5回目	2021年8月28日	17,600円
	6回目	2021年9月28日	17,600円
	7回目	2021年10月28日	17,600円
	8回目	2021年11月28日	17,600円
	9回目	2021年12月28日	17,600円
	10回目	2022年1月28日	17,600円

専科スクール	回数	お支払い期日	お支払い税込額	備考
◆ 放送作家養成	1回目	2021年4月15日	27,500円	
	2回目	2021年5月28日	22,000円	
	3回目	2021年6月28日	22,000円	
	4回目	2021年7月28日	22,000円	
	5回目	2021年8月28日	22,000円	
◆ 作詞家養成 ※継続生の方は、5回払	1回目	2021年4月15日	18,700円	新規・継続生
	2回目	2021年5月28日	13,200円	新規・継続生
	3回目	2021年6月28日	13,200円	新規・継続生
	4回目	2021年7月28日	13,200円	新規・継続生
	5回目	2021年8月28日	13,200円	新規・継続生
	6回目	2021年9月28日	13,200円	新規生のみ

【振込先】三菱UFJ銀行／心齋橋支店／普通 4873397（名義：心齋橋大学）

※受講生フルネームでお振込み下さい。※お振込手数料はご負担願います。

受講のお手続き・ご登録内容確認のお願いについて

本科、大学院、専科スクールと様々なコース・クラスが御座います。
組み合せての受講も可能ですので、スタッフにお気軽にご相談下さい。
ご相談は、来校・お電話・メールにて随時対応致します。

1. 受講に関するご相談 **教室見学・オンライン見学・体験ビデオの配信**

来校：月～土 12時～19時の間で随時、講義前後はご予約頂くことをお勧め致します。
TEL：月～土 12時～19時 担当スタッフ不在の場合は、折り返しお電話差し上げます。
MAIL：随時お返事差し上げます。

体験受講・見学をご希望の方は、可能日時をご案内致しますので、お問い合わせ下さい。

本科コースについては、体験ビデオの配信も致します。(2コース迄)

大学院ゼミについては、オンラインでの体験受講も受付致します。(進級資格のある方、2ゼミ迄)

2. 受講内容確認書のご提出 **4月15日迄**

ご登録内容・受講内容確認書の必要事項にご記入の上、スタッフにご提出下さい。

※FAX、メール添付(PDF)、フォーム送信(心齋橋大学HP)でも受付致します。

フォーム送信でのお申込み「 <https://www.shinsaibashi-daigaku.jp/request-3> 」

春期のコース・クラスの受付は4月15日(木)迄で一旦締切致しますが、満席クラス以外については、以降のお手続きについても受付致しますので、ご遠慮なくお問い合わせ下さい。

新型コロナウイルスの感染拡大防止の為、教室の収容人数の7～8割を満席として募集致します。

お早目にご相談、お手続き下さい。

3. 費用のお支払い **4月15日迄【特典有】**

P10・11の受講料一覧をご確認の上、お振込下さい。お振込み確認を持ってお席を確保致します。
月払いをご希望の方は、4月15日迄に月払い1回目分をお振込下さい。(2回目以降は毎月28日迄)

●その他、お願い・ご案内事項 *受講のお申込み前に、下記を確認・ご了承下さい。*

- ◆ 講義スケジュールは、4月中旬から末迄にお配り致します。初回講義日は、本紙をご確認下さい。
- ◆ 各コース、クラス、ゼミには、最低開講人数(目安人数：5名)を設けております。
残念ながら達しない場合は、開講致しませんのでご了承下さい。
- ◆ 担当講師およびカリキュラム・講義回数・開講期間は予定です。事情により変更することがあります。
- ◆ 新型コロナウイルスの感染拡大状況により、講義の実施方法を変更することがあります。
- ◆ オンライン受講・ビデオ受講の際のインターネット環境やデバイスの準備、利用にかかる通信費等の費用は各自のご負担となります。
- ◆ 心齋橋大学からのメール(@shinsaibashi-daigaku ドメイン)から、特典ビデオ視聴のご案内や様々なご連絡を致しますので、必ず受信頂けるように設定しておいて下さい。

●ご連絡・お問い合わせ先 心齋橋大学 事務局 大阪府中央区南船場3-11-18 郵政福祉心齋橋ビル2F

受講に関するご相談受付時間：月～土 12時～19時(担当：大出・島谷・平山・内山)

TEL : 06-6252-7000 / FAX : 06-6252-7222

MAIL : info@shinsaibashi-daigaku.jp